

事業所名

学校法人豊田学園たんすいWAYルーム

支援プログラム

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念	1. 幼児の時代にしてよいことを判断できるようになる。 2. 美しいものに感動し、やさしい思いやりのある心を育てる。 3. 自分で考え自分の意志で行動できる自主性を育てる。		
支援方針	一人一人の特性に配慮し、おさまの中で「自立」した生活を送ることを目指した支援をします。		
営業時間	9時	0分	17時
	から	まで	
	送迎実施の有無	あり	※送迎条件あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	日常生活の中で必要なスキル獲得に向けて、一人一人に応じた支援をします。	
	運動・感覚	おさまの感覚の特性に配慮し、生活の中で必要な身体の動きを獲得するための支援をします。	
	認知・行動	自分で考えて自分で行動できるように、一人一人に応じた支援をします。	
	言語 コミュニケーション	おさまが、自分の意志を他者へ伝える方法の獲得と適切な関わり方ができる方法を個別で支援します。	
	人間関係 社会性	子ども同士、または、大人を介して小集団活動で他者と適切に関わる経験を積むことで、集団生活に必要なスキル獲得に向けて支援します。	
家族支援	当事業所以外の場所でも、お子様への関わり方や環境設定等の具体的方法をお伝えし、保護者様が無理なく実践できる工夫をします。 保護者様のご相談は迅速に対応して、おさまのことを一緒に考えます。	移行支援	おさまの在籍園と当事業所間で情報の交換を図り、統一した関わり方・支援に向けて検討・実施していきます。
地域支援・地域連携	各関係機関と情報共有・役割分担について協議し、お子様の支援につなげていきます。	職員の質の向上	定期的に事業所内外の研修を受講する機会を設け、支援方法のスキルアップにつなげます。
主な行事等	季節の行事を不定期で行います。		

事業所名

たんすいWAYルーム

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念	未来ある子どもたち。その未来への道筋は、決して途絶えることはありません。その道は苦難の道かもしれないし、困難の道かもしれない。たとえ、どんな道であっても、くじけずに、希望を持って、常に前を向いて進んでほしい。なぜなら、前を向いて進めば、必ず新しい世界、新しい明日が見えてくるから。Way には、“道”という意味と“方法”という意味があります。						
支援方針	1、安全・安心を第一に、子ども達の個性や能力が発揮できる環境づくりをめざします。 2、障がいのある子どもが、将来働くため、働き続けるために必要な力の育成に取り組みます。 3、家庭や保育園・幼稚園・学校等との連携のもと、発達段階に即した児童発達支援計画・個別支援計画を作成して、支援に取り組みます。 4、専門性の高い人材による質の高い支援を提供するとともに、専門性の高い人材の確保と継続的な研修に取り組みます。						
営業時間	9	時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援方法を考えます。食事、排泄を身につける方法を遊びの中や、日常の学習機会を利用しスキルを獲得していきます。さらに特性に配慮した視覚支援や環境の構造化を実施します。					
	運動・感覚	日常的に必要な運動能力の向上に向けた支援を行います。視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援します。感覚や認知の特性(過敏、鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整(姿勢の保持、体幹を鍛える、力のコントロール、感覚の調整【感覚統合】手先の巧緻性、協調運動、人との距離感等)の支援を行います。					
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用して、必要な情報を収集する認知機能の発達を促す支援をします。環境から情報を獲得し、行動につなげることや、物の機能や属性、形、色、音、空間、時間等の概念から認知や行動の手がかりとして活用できるように支援します。数量、形の大きさ、重さ、色等の習得、情報の適切な処理、認知の偏り等の個々の特性に配慮した支援を行います。					
	言語 コミュニケーション	「聞く」「話す」というコミュニケーションの基盤を作ります。自分の発言が相手に受け止められる、相手の言うことに応じて行動したり発言したりすると、相手が肯定的な対応をしてくれるという経験を通じて、コミュニケーションの楽しさを感じられるよう支援します。言葉の理解・表現の課題を通して、日常生活で使える言葉の種類を増やします。同じ文字同士を合わせる、ひらがなをなぞる、単語を読むなど、楽しみながら文字に親しむ機会を設けます					
	人間関係 社会性	身近な人との親密な関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。人の動きを模倣したり、見立てあそびやごっこあそび等の象徴あそび、1人あそびから並行あそび、大人が介入する連合的あそびを通して、社会性の発達を支援します。自分を理解するとともに、気持ちや情動を調整し、手順やルールを理解して集団活動に参加ができるよう支援します。					
家族支援	保護者、通園先との情報交換を通して、具体的な場面でより本人が過ごしやすい環境を探していきます。			移行支援	保護者、通園先の意向に合わせて日々の様子や支援について情報を共有します。必要に応じて、関係機関に情報を提供します。		
地域支援・地域連携	保護者、通園先との情報交換を通して、具体的な場面でより本人が過ごしやすい環境を探していきます。			職員の質の向上	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。		
主な行事等	季節のイベント、遠足等						